Sugiyama
人間になろう

学園報

2018.11.15 vol.157

大学入試最前線2018→2019

CONTENTS

大学入試最前線 01
大学 椙大祭 02
高等学校 椙煌祭・中学校 文化祭 03
小学校 学習発表会・幼稚園 運動会・保育園 運動会 04
学園ニュース 05
学園規程の変更・理事会・評議員会の議題・報告事項 11
人事・訃報・NEW FACE 11
入試日程一覧・学園行事予定・編集後記 12

大学入試を取り巻く環境は、2016年度以降の私学助成金不交付基準の厳格化により、大規模校を中心とした定員超過の抑制など大きな影響が出ています。さらに現行のセンター試験が2020年1月実施を最後に廃止され、新たに大学入学共通テストが導入されます。これにより、現在の高校2年生がセンター試験の最終世代となり、現役合格への高まりから志望校の安全志向が強まっています。こうした環境の中で、本学でもしっかりと志願者数と入学者を確保する取り組みが求められています。

オープンキャンパス2018の来場者数は最高水準を更新!

7月8日(日)、8月11日(土・祝)、8月12日(日)、9月9日(日)と4回のオープンキャンパスを実施しました。今年度は大雨、酷暑という悪条件が続いた中での開催でしたが、4回合計で9,900人(うち高校生6,501人)名が来場。来場者数としては4年連続の増加となり、過去最高の水準を更新しました。

7月8日(日)には「金城学院大学との同日開催」として、キャンパス間シャトルバスの運行を今年度も実施。5年目となる同企画は両校のオープンキャンパスに参加できると受験生や高校教員からの高い認知と評価を受け、今年度も来場者増に大きく寄与しました。

来場した高校生・保護者は学科説明会、模擬授業、学科企画・展示のほか、在学生の体験談に触れる「椙大生トークライブ」や在学生との交流コーナーなどに参加し、教育内容やキャンパスの雰囲気を体験。AO相談会や入試相談会などにも多数、高校生が来場し、入試について真剣に質問をしていました。

オープンキャンパスの参加者増が、引き続き、志願者層に繋がることが期待されます。

志願者数推移

入試区分 / 学科(専修)		一般入試A			センター利用入試A			
			H31 募集人員	志願者数 H30	志願者数 H29		H31 募集人員	志願者数 H30	志願者数 H29
管理栄養	2教科型		48	527	546	2教科型	13	96	109
	プラスセンター型		7	170	213				
生活環境デザイン	2教科型		35	217	204	3教科型	10	67	73
	プラスセンター型		10	122	102				
国際言語コミュ ケーション	2教科型		36	251	302	2教科型	3	126	133
	プラスセンター型		10	106	95				
表現文化	2教科型		35	149	159	2教科型	2	80	87
	プラスセンター型		5	71	54				
人間関係	2教科型		34	204	213	2教科型	3	150	140
	プラスセンター型		3	108	85				
心理	2教科型		36	218	177	2教科型	3	99	65
	プラスセンター型		5	104	69				
文化情報	2教科型		35	292	216	2教科型	5	125	100
	プラスセンター型		5	116	73				
メディア情報	2教科型		30	163	171	2教科型	4	107	111
	プラスセンター型		4	79	68				
現代マネジメント	2教科型		50	472	390	3教科型	10	107	71
	プラスセンター型		15	183	152				
子ども発達(保育・初等)	2教科型		23	356	341	3教科型	2	55	62
	プラスセンター型		12	201	142				
子ども発達(初等中等)	2教科型		13	253	281	3教科型	2	65	90
	プラスセンター型		15	159	200	5教科型	2	37	45
看護	プラスセンター型		40	539	574	3教科型	4	99	100
合計			506	5060	4827		63	1213	1186

編集・発行 学校法人椙山女学園 事務局 〒464 8662 名古屋市千種区星が丘元町 17 番 3 号 TEL 052 781 1186 FAX 052 781 8831 URL http://www.sugiyama u.ac.jp

AUTUMN EVENT REPORT 秋のイベントレポート

大学 第57回 椙大祭を開催しました

10月20日（土）、21日（日）、星が丘キャンパスにおいて、第57回椙大祭を開催しました。今年のテーマは、「SPACE」。ひとりひとりが輝くことで、無限の可能性に満ち溢れたキラキラとした大学祭にしたいという想いが込められています。当日は晴天に恵まれ、両日ともに多くの来場者で賑わいました。

サークルやゼミが出店した模擬店、音楽やお笑いライブが行われた屋外ステージ企画をはじめ、自治体や企業とのコラボ企画など、来場者を楽しませるユニークな内容で会場は終日盛り上がりを見せました。

1日目には、卒業生が母校に集う「第14回 椙山ホームカミングデイ」を同時開催。卒業生による講演会と学部交流会（ティーパーティ）が行われ、学部学科、世代の枠を超えて親睦を深める機会となりました。また、2日目には恒例のミスコンテストが行われ、大学祭に花を添えました。

これまでに多くの時間と労力を費やし、入念な準備を重ねてきた大学祭実行委員の学生をはじめ、多くの椙大生の活躍により、今年の椙大祭も大盛況のうちに幕を閉じました。

高等学校 椙煌祭（すぎこうさい）2018「STAR」を開催しました

平成30年9月14日（金）・15日（土）　文化祭

平成30年9月18日（火）　スポーツデー・後夜祭

文化祭、スポーツデー、後夜祭の3部構成で行われる一大イベント「椙煌祭2018」が、9月14日（金）、15日（土）、18日（火）の3日間にわたり開催されました。

今年の椙煌祭のテーマは、「STAR」。夜空にきらめくたくさんの星のように、本校の生徒一人ひとりがきらきらと輝くという願いが込められています。

14日、15日に行われた文化祭では、クラス企画として1年生が「展示」、2年生が「パフォーマンス」、3年生が「ミュージカル」と部門に分かれ、クラスごとに作品を披露。クラス一丸となって準備に取り組んできました。3年生が演じるミュージカルでは、各クラスとも完成度の高いステージを披露することができ、大きな拍手と歓声が上がりました。その他にも、野外ステージや、クラブ企画、模擬店などが行われ、多くの来場者で賑わいました。

18日には、愛知県体育館（名古屋市中区）において、SPORTS DAYを開催。学年種目のほか、1年生から3年生までを縦割りグループで構成した応援団による応援合戦などが行われました。生徒たちは、それぞれ優勝を目指し、全力でスポーツに取り組みました。

中学校 文化祭2018「百花繚乱」を開催

9月28日（金）・29日（土）の2日間、文化祭を開催しました。

今年のスローガンは「百花繚乱」。「椙中生一人ひとりの個性の花を華やかに、美しく咲かせてほしい」、そして「この文化祭を機に、自分はどんな花を咲かせるのか考えてみる」という思いが込められています。

今年は、1年生それぞれが選んだ花とそれにまつわるエピソードカード、色塗りを担当した個性豊かな花の装飾で皆さんをお出迎えしました。

文化祭では、1年生はクラスで選んだ曲をクラス全員で一生懸命歌い上げました。2年生はクラスごとでテーマを決め制作した教室アートを展示。3年生は「演劇」を担当し、出演キャストと裏方と一丸になって準備の成果を発揮しました。

その他にも、各クラブの展示や発表、教科展示も実施。ご家族の皆さまにも熱心に見学していただき、活気あふれる楽しい文化祭となりました。

AUTUMN EVENT REPORT 秋のイベントレポート

小学校 学習発表会に見る子どもたちの成長

10月13日(土)、学習発表会が行われ、多くの保護者に観覧いただきました。

1年生の音楽劇「スイミー」では、どの役割の子もとても元気に頑張って歌い、表情豊かに台詞を言うことができました。2年生の研究発表「Welcome to Nagoya」では、覚王山や日泰寺のこと、名古屋めしや名古屋の名所について自分たちで台本をつくり、英語の台詞で発表しました。3年生の英語劇「Snow White」は、どの台詞もネイティブの先生の発音に近づけるように頑張りました。4年生の「オズの魔法使い」は、台詞に気持ちを込めて、みんなで心を一つにして演じることができたと思います。5年生の研究発表「ひまわりのおか～東日本大震災で学んだこと～」は台本作り、照明、演出などすべて自分たちで行い、作り上げたものです。6年生合唱劇「美女と野獣」は小学生最後にふさわしく、女性らしい歌声と舞台演出ができた発表になりました。

子どもたちにとって自己表現の良い機会となりました。観覧された保護者の皆様方は、1年ずつの子どもたちの成長に目を細めてみえました。また、発表内容によっては観覧された保護者の方が涙を浮かべる様子も見られました。

幼稚園 雨にも負けずに頑張った運動会！

10月6日(土)、運動会を行いました。当日になってもなかなか天気が安定しない状況でしたが、曇りの予報を信じての決行となりました。

年少組の子どもたちは初めての運動会で緊張していましたが、カラフルなポンポンを持って踊るかわいい姿には、保護者の皆さんも目を細めていました。年中組は玉入れの途中で踊りも踊るという忙しい競技を行いましたが、玉入れをする時、踊る時のメリハリをつけて楽しむことができました。年長組は何と言っても最後のリレーが圧巻！ちょっとしたバトンの受け渡しのタイミングで順位が変動し、ハラハラドキドキの熱い戦いとなりました。

運動会の途中では、にわか雨が降りましたが、その雨にも負けずに頑張る子どもたちの姿がとても印象に残る運動会となりました。

保育園 小さな運動会～三匹のやぎのがらがらどん～

10月20日(土)、小さな運動会が行われ、100名を超えるご家族にお越しいただきました。

2歳児ぶどう組は、普段慣れ親しんでいるお話「三匹のやぎのがらがらどん」の世界を、体を使った遊びで再現しました。15人の子どもたちが、ヤギのがらがらどんに変身し、冒険に出発！気味の悪いトロルにつかまらないように、一本橋や肋木(ろくぼく)の山をよじ登ったり、竿につかまり川を越えたりしました。最後はお母さんやぎ、お父さんやぎと一緒に大きな大きなトロルをやっつけました。

GAKUEN NEWS 学園ニュース

学園 平成30年度第2回人間講座を開催しました

7月25日（水）、教育学部教授で前椙山女学園大学附属幼稚園長の石橋尚子氏、NPO法人愛知県西部防災ボランティアコーディネーターネットワークの会代表の東嶋とも子氏の２名を講師として、平成30年度第２回人間講座「ダンゴムシで守る小さな命　ー椙山女学園大学附属幼稚園・保育園の防災への取り組みー」を開催し、66名の方が参加しました。

石橋氏は、防災訓練の立案の段階から、子どもの目標、教職員の目標、保護者への対応などを明確にすべきであると話しました。また、全員参加の訓練により、動きの基本を身に着け、教職員は、園内図を使った図上訓練によって個の動きや組織としての動きを振り返ることも大切であると説明しました。

続いて東嶋氏は、子どもたちが自分の身を守るためには、ダンゴムシの姿勢で床に伏せるのが安全であることを説明しました。また、新聞紙で作るスリッパなど様々な防災グッズを提示し、具体的な使用方法を紹介しました。

最後に、防災への取り組みは、PDCAサイクルにより、防災訓練後の問題等の検討を行うだけではなく、具体的な提案・改善を行うことが重要であることを結びとしました。

学園 世界の文化と食～「フランス」「中国」編～千種生涯学習センターとの共催講座を開催

8月2日（木）から9月13日（木）までの4回にわたり、本学教育学部棟において千種生涯学習センターとの共催講座を開催しました。この講座は「世界の文化と食」をテーマに、取り上げた国の文化と食についての講義の後、その国の料理を作るという、講義と調理実習を合わせたユニークなスタイルです。昨年初めて実施したところ好評だったためシリーズ化し、今年度は「フランス」と「中国」編として実施しました。

フランス編の講義では、パリのオートクチュールでの在職経験があり、ファッションデザインが専門の生活科学部の滝澤愛講師が「フランスの文化とファッションを知ろう！」をテーマに、フランスでのファッションの位置づけやトレンド発信から流行の流れについて解説。また、ファッションの源流や年代ごとの特徴と社会背景や文化にも触れながら、ファッションを取り巻く様々な背景とその変容について説明しました。フランス編の調理実習では、生活科学部の加賀谷みえ子教授の指導のもと、プロヴァンス地方の郷土料理である「白いんげん豆と野菜のスープのバジルソース添え」や「若鶏のフリカッセ」「ブランマンジェ」の3品を調理しました。

中国編の講義では、中国出身で文化情報学部の鄭麗芸教授が、「中国の文化と風習を知ろう」をテーマに、中国の文化・風習の受容と変容、食文化と茶文化の関係、中国と日本の文化風俗の比較を取り上げ、中国と日本の文化はお互いに影響を受けながら、似ているようで似ていない面白い関係性があることについて言及しました。中国編の調理実習では、フランス編に引き続き、加賀谷みえ子教授のもと、「生菜餛飩（レタス入りワンタンスープ）」「什錦米粉（五目ビーフン）」「麻婆豆腐（豚ひき肉と豆腐の唐辛子味噌炒め）」を調理し、中国の食の世界を楽しみました。

学園 「金剛鐘」の現状調査を行いました

椙山女学園のシンボルである「金剛鐘」は、昭和６年（１９３１年）に山添キャンパスに設置されてから８７年間奏鳴されてきました。

今回、歴史文化館として歴史的資料の現状把握を行うため、青銅器製造で有名な老子（おいご）製作所（富山県高岡市）に調査を依頼しました。

異常な暑さの８月末、金剛塔に登り、ハンディタイプのX線装置で鐘の成分分析が行われました。また、実際に一つひとつの鐘を鳴らして音の周波数が測定されました。

その結果、鐘は鋳造技術がよく、成分分析では、音をよく響かせるため錫の含有量が多いことがわかりました。その反面、錫の含有量が多いことは、割れやすくなるリスクもあるとのことです。また、鐘の表面にピンホール（小さな穴）などは見あたらず、内側では、振り子とぶつかる箇所は多少の凹みはあるものの、長年使用した割に凹み方が少ないとのことでした。しかし、同じ個所に衝撃を与え続けると金属疲労が貯まり、割れる可能性があるため、定期的に鐘本体を回転させて打鐘箇所を変えたり、鍵盤の根本に衝撃材を置くなどして鐘の劣化の防止をするのが望ましいとのことでした。

成分分析調査

音の周波数調査

最後に、老子製作所の方から、歴史的価値の高い鐘であり、今後も大切に使われていくことを推奨しますとの言葉をいただきました。

GAKUEN NEWS 学園ニュース

学園 大規模災害へ備える防災講習会を実施しました

大規模災害への備えについて学ぶ防災講習会が、9月6日（木）に星が丘キャンパスで開かれました。これは本学教職員を対象に毎年行われているもので、今年度は千種消防署の救急係担当者をお招きし、救命活動において教職員として学生・生徒・園児の安全を守るための適切な行動などを講習いただきました。

AEDの取り扱い講習では未習熟者にも対応した内容で説明をいただき、実際にAEDの操作を体験するなど、教職員が積極的に救命活動へ参加できるよう知識・技術の両面からの講習となりました。

講習会実施後のアンケートでは、参加者より「AED未習熟者向けの説明や体験型講習により初めて知識・技術が身についた」、「自分が知っていた救命活動の内容と変わっていた」などの声が寄せられました。今回の講習会では、救命活動を学ぶことにより「命を守る」判断と行動の重要性について認識を深めることができました。

学園 ハラスメント防止講演会を開催しました

9月5日（水）、星が丘キャンパスにて平成30年度学園ハラスメント防止講演会を、牟田和恵氏（大阪大学人間科学研究科教授）を講師にお招きして開催しました。午前と午後に分けて同じ内容のご講演を頂き、午前の部では151名、午後の部では143名、合計294名の教職員が参加しました。

演題は、「無自覚なハラスメント加害者『もしかしたら自分も‥』」。牟田講師は、私たちの「間違いだらけのセクハラ常識」により、気づかないうちに誰もがハラスメントの加害者にもなり得ると、警鐘を鳴らされました。

大学におけるハラスメント対応として、ハラスメントと認定できない事案においても、学生・教職員に対する学習・就労環境を保全する措置が必要であること、柔軟で迅速な救済と再発防止対策が重要であることなどを具体的にお話いただきました。

今回の研修は、ハラスメントがもたらす人生設計・生計にかかわる被害の深刻さを認識し、被害防止と救済に必要な意識の共有が教職員間でできた貴重な機会となりました。

学園 平成30年度椙山女学園SD研修会に事務局職員109名が参加

8月21日（火）、椙山女学園事務職員ＳＤ研修会を開催しました。「ほめ達！で人も組織も活性化！」と題して、一般社団法人日本ほめる達人協会専務理事の松本秀男氏に講演をいただきました。「ほめる」ことをスキルとして、職場でのよりよい人間関係を作るコミュニケーション能力を高めることを目指す研修です。

講師の松本氏は、歌手さだまさし氏の制作担当マネージャーとしての活動サポート等でご活躍された方です。講演に先立ち、3つのお願いとして「全力で拍手する、全力で頷く、笑顔」を言われました。ほめるとは、決して聞こえの良いことを言うテクニックではなく、人との向き合い方や自分との向き合い方を考えること、「人、モノ、起きる出来事の価値を発見して伝えること」と定義しました。「ほめ達(ほめる達人)」はきっかけであり、その先にはコーチング、ファシリテーション、脳科学など様々な考え方につながることが紹介されました。また、主観でほめ切ることが大切であり、SNSでのいいね！とはLIKE！であること、ほめ達の口癖として「すごい、さすが、素晴らしい」の3つのSがポイントであると説明しました。

講演では、参加者同士でほめるミニワークを行うなど、ほめることの重要性について学びました。講演終了後は、参加者から感謝の意を込めて、あらためて「全力で拍手」をしました。

学園 椙山こども園の入園説明会を開催しました

9月1日(土)、9月22日(土)の2日間にわたり、平成31年4月に星が丘キャンパスに開園する「椙山女学園大学附属椙山こども園」の入園説明会を開催し、合わせて215組の保護者、お子様が参加されました。

当日は、森棟公夫理事長から、本学園の概要や椙山こども園設置の経緯について説明があった後、小林豊子園長(就任予定)から、椙山こども園の理念や保育・教育方針、園での生活などについて説明が行われました。

また、2月に完成予定の新園舎について、上田剛裕管財営繕課長から、パース図や写真を用いて説明が行われました。園舎は、木造で木のぬくもりが感じられ、天井が高く開放感のあるつくりになっており、参加者からも『園舎の雰囲気がよい』との声が多数寄せられました。

当日の参加者アンケートでは、『園の教育・保育の方針に共感した』『是非入園を希望したい』との回答が多数あり、椙山こども園への期待の高さがうかがえる結果となりました。

現在、椙山こども園は、開園に向け急ピッチで準備が進んでいます。来年の春、満開の桜の下で、明るく元気な子どもたちの声が園舎に響きわたるのが楽しみです。

大学 平成30年度「父母の集い」を開催しました

9月29日(土)、星が丘キャンパスにおいて、平成30年度「父母の集い」を開催しました。

このイベントは、在学生のご父母の皆様に本学を理解していただくことを目的に大学及び大学振興会が毎年開催しているものです。

はじめに、「大学の現状報告」として、後藤宗理学長から、教育活動からみた椙山女学園大学の現状について報告がありました。その後、「就職事情説明会」として、加藤珠穂キャリア支援課長から平成29年度の就職実績をもとに、就職事情や本学のキャリア支援について、株式会社リクルートキャリアリクナビ副編集長の江﨑将人氏から、就活生を取り巻く環境や求人倍率の推移について説明がありました。また、教育学部、看護学部については、各学部教員による教員、看護師などの専門職への就職状況に関する説明会が行われました。

恒例の講演会には、脳科学者/医学博士/認知科学者で東日本国際大学教授の中野信子氏を講師としてお迎えし、「『運』を科学する―運がいい人の行動パターン―」と題した講演会を行いました。講演会終了後は、レセプション(教職員との懇談会)、保護者相談会(学修相談・就職相談)、キャンパス見学ツアーを行い、ご父母の皆様が、大学についての理解を深め、本学教職員との親睦を深める貴重な機会となりました。

大学 本学教員がFD研修会を行いました

学生にとって魅力ある授業の実施方法について学ぶFD研修会が、9月5日(水)に開催され、142名の教員が参加しました。

今年度は、本学で過去にベストティーチャー賞を受賞した教員が、午前午後それぞれ2人ずつに分かれて講師を務め、「学生を惹きつける授業とは?」をテーマにした講演を行いました。午前の部では、生活科学部の加藤昌彦教授と文化情報学部の脇田泰子教授が、また、午後の部では、文化情報学部の樋口謙一郎准教授と看護学部の中嶋文子准教授が講師を務め、それぞれの授業の進め方などを具体的に紹介しました。

その後、全学FD委員長である人間関係学部の田中節雄教授がコーディネータを務め、質問形式でのディスカッションが行われ、授業の実施方法について詳細に議論されました。

本学では、教員同士が意見交換を行うことで、学内の組織的な取り組みとして、より一層の授業内容・方法の改善、教育の質的向上を図っています。

GAKUEN NEWS 学園ニュース

大学 味の素株式会社との産学連携プロジェクトが同社の株主総会で取り上げられました

管理栄養学科が取り組んだ産学連携プロジェクト「ラブベジ®」が、連携先である味の素株式会社の第140回定時株主総会にて取り上げられました。

このプロジェクトは2015年から始まり、愛知県を中心に東海エリアでの野菜摂取量の拡大を目指したものです。管理栄養学科 河合潤子准教授の指導の下、管理栄養学科の学生が野菜を気軽に食べられるレシピ開発から始まったこの取り組みは、同社ホームページのレシピサイトや東海エリアのスーパー店頭で紹介されたほか、本学オープンキャンパスのランチメニューでの提案や「ラブベジ®」料理教室の開催など多様な展開を見せています。

味の素株式会社の第140回定時株主総会は、6月26日（火）、帝国ホテル東京において開催され、事業報告の一部として本学との取り組みが紹介されました。当日放映されたＶＴＲは、同社ホームページの企業情報サイト内「第140期 事業報告」（https://www.ajinomoto.com/jp/ir/event/meeting.html）より視聴できます。
※7：55から本学の取り組みが紹介されます。

高等学校 カナダ・トロントでの語学研修に参加しました

7月22日（日）から8月5日（日）まで、カナダ・トロント大学トリニティキャンパスでの語学研修に高校1年生から3年生までの希望者25名が参加しました。この大学では、英語を学ぼうとする世界中の中高生が集まるサマースクールが行われ、本校生徒たちも、同じ寮で生活しながら英語の授業やアクティビティに取り組みました。

研修は午前中の授業が12人程度の少人数クラスで行われ、様々な英語表現を覚えたりグループでの話し合いや発表を行うなど、英語を話す機会を多く持つことができました。午後のアクティビティでは、グループのメンバーと協力して課題をクリアしていくゲームなどを行いました。こうした取り組みを通して、生徒達は生の英語に触れることができました。

授業のない日曜日には、トロント市内のチャイナタウン、ケンジントンマーケットなどを訪れ、人種が混ざり合うモザイクタウンと言われるようなトロントの雰囲気を満喫することができました。

この研修の一番の醍醐味は、日本ではなかなか出会えない世界各国の同世代の仲間と交流できることです。異なる文化の中で育った者同士の交流には難しさを感じる面もありましたが、これを「おもしろい！」と感じるたくましさも身につけることができました。

中学校 1年生の家庭科で椙山女学園大学の学生による特別授業が実施されました

9月10日（月）から18日（火）にかけて、椙山女学園中学校1年生の家庭科全クラスで、椙山女学園大学の学生による特別授業が行われました。

この取り組みは、名古屋市による「倫理的消費の普及啓発事業」委託の一環として行われました。中学生が消費者の一人として、環境や社会へ配慮した商品やサービスを選ぶエシカル消費の大切さを学び実践することを目的に、現代マネジメント学部 東珠実教授のゼミ生19名が特別講師を務めました。

はじめに生徒たちは、自分のペンケースに何本のペン類が入っているかを確認。その中でよく使うものは何本なのかを考え、実際に購入する際には「必要なもの（Needs）」と「ほしいもの（Wants）」を認識することが大事であると知りました。さらに「必要なもの」を購入する際には、価格や品質のほかに、環境への負荷が少なく、生産者の安全性や経済的な自立が支援できる商品を選ぶことの大切さについても学びました。

授業では、講師役の大学生と対話をしながらグループごとに意見をまとめるなど、普段とは異なる授業を経験することができました。参加した生徒は、「普段手にしている商品にもさまざまなマークが記されており、社会的な貢献を意味していることが学べた」と手応え感じたようでした。

今回は大学生から中学生へエシカル消費を通じ、環境や社会にやさしい消費者を目指す呼びかけが行われました。学園内では、今後も様々な交流が進められます。

小学校 環境をクルマとの関わりから学ぶ「トヨタ原体験プログラム」に参加しました

9月18日（火）、5年生の児童が、クイズやゲームを行いながらクルマと環境との関わりについて学ぶ「トヨタ原体験プログラム」に参加しました。

トヨタ自動車とNTPグループが主催するこのプログラムは、誰もが知っている「クルマ」を通じて、子どもたちに様々な体験をしてもらうことを目的としています。

はじめに、自動車と環境との関わりについて講師の方から説明がありました。児童たちは、自動車の歴史や種類などの基礎知識、現代社会における環境問題についてスライドを見ながら学習しました。また、地球温暖化や温室効果ガス、ハイブリッドカーについてなどをクイズ形式で学びました。

続いて行われた「カー&エコゲーム」では、オリジナルのボードを使用し、クルマと環境・経済との関わりについて学びました。チーム対抗で、自動車会社の経営者になり、環境のことを考えながら車を生産、販売し、利益をあげるゲームに挑戦。会社を成長させるだけでなく、環境に配慮した取り組みが勝敗のポイントとなることから、チーム全員がそれぞれ頭を悩ませながらサイコロを振り、出た目に一喜一憂しながら楽しみました。児童たちは、クイズやゲームを楽しみながら、環境への配慮の重要性を認識したようでした。

幼稚園 平成31年度入園希望者説明会を開催しました

9月12日（水）、平成31年度入園希望者説明会を開催し、91組のお子さま、保護者の方々にご参加いただきました。

はじめに、山中文幼稚園長が本園の概要を説明。子どもの声に耳を傾けることを実践する本園の教育方針を紹介し、入園後の行事やPTA活動への積極的な参加を呼びかけました。

その後、飯田恵教頭が、スライドを使い、園児の日頃の様子や年間行事などを紹介し、本園での生活について理解を深めていただきました。

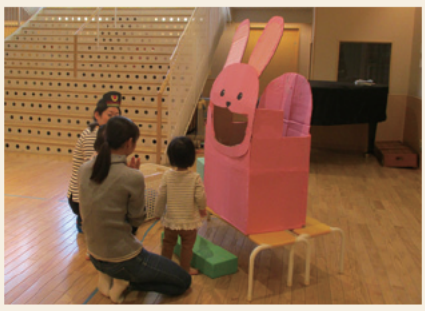
保育園 ナースのたまごのお姉さんと

10月9日（火）、椙山女学園大学看護学部の3年生による保育園実習が始まりました。

子どもたちは、たくさん遊んでもらえるお姉さん先生が大好きです。園庭やホールで一緒に遊んだり、近所にある附属小学校へお散歩に行ったりしています。遊んでいる間、子どもたちは、お姉さん先生のことをなぜか「パパ」と呼んでしまうこともありました。

保育園実習に参加した看護学部の学生たちは、子どもの発達を間近で見ることで、保育士と看護師は、相手の立場になって考えて必要な援助をする点では同じであることを実感しました。素敵なナースになって、また会いに来てくれることを楽しみにしています。

看護学部生による実習は、11月29日（木）まで行われる予定で、期間中に111名の実習生を受け入れます。



GAKUEN NEWS 学園ニュース

学園 マスコミ登場一覧（7月～9月）

掲載日	所属	項　目	媒　体
7月1日	大学	第22回「300文字小説賞」で最優秀賞／看護学科 齊木 萌さん（4年生）	新聞（中日・東京）
7月1日	大学	夢あるならTRY!留学／子ども発達学科 榊原 歌穂さん（1年生）	新聞（中日）
7月2日	中学校	県ジュニア選手権水泳【400メートルバタフライ】1位／中川 果音さん（2年生）	新聞（中日）
7月2日	高等学校	県高校総体水泳競泳／【総合】2位 高校水泳部【背泳ぎ200m】1位 岩本 奈那美さん（3年生）【平泳ぎ200メートル】1位 大島 彩奈さん（2年生）	新聞（中日）
7月2日	大学	オープンカレッジ 地方からのマーケティング ライフスタイルを提案する／現代マネジメント学部 角田 隆太郎教授	新聞（中部経済）
7月4日	大学	東海北陸道 開通10周年記念 高岡でシンポジウム／現代マネジメント学科 大串 葉子教授	新聞（北日本）
7月5日	大学	拝見！旅行講座 学生、客目線でツアー企画／文化情報学科 阿部 純一郎准教授、文化情報学科 岡田 楓香さん（3年生）	新聞（読売）
7月6日	中学校	第35回東海書道展【知事賞】／水谷 一華さん（2年生）	新聞（中日）
7月7日	高等学校	一宮七夕まつり学生書道展【一宮市長賞】／東 和鼓さん（2年生）	新聞（中日）
7月10日	大学	愛知レディース陸上【800メートル】1位／管理栄養学科 山中 今日香さん（3年生）	新聞（中日）
7月11日	大学	学べることに感謝忘れず／子ども発達学科 加藤 智華子さん（2年生）	新聞（毎日）
7月12日	中学校	牧書会 公募第四十四回教育競書展【中日新聞社賞】／加古 紗里さん（3年生）	新聞（中日）
7月17日	中学校	名古屋市中学校総体体操・新体操／【体操団体総合女子】2位【新体操団体女子】2位	新聞（中日）
7月25日	大学	オープンカレッジ 財政危機下の社会保障改革 財政再建と社会保障の両立探れ／現代マネジメント学科 前川 俊一教授	新聞（中部経済）
7月29日	大学	「18歳成人」へ消費者教育 計画性身に付けリスクに備える 身近な事例をクイズに／現代マネジメント学科 東 珠実教授	新聞（静岡）
7月30日	高等学校	県秋季新人卓球【女子シングルス】E1位／田上 乃梨さん（1年生）	新聞（中日）
7月30日	高等学校	東海高校選手権水泳【平泳ぎ200メートル】2位【メドレーリレー】3位【総合】3位／高校水泳部	新聞（中日）
7月31日	高等学校	椙山女学園高校生 施錠PRの図案 千種署がラリー実施／高校漫画部	新聞（毎日）
8月2日	高等学校	11チーム全国へ 高校ダンス部選手権地方大会／高校ダンス部	新聞（産経）大阪版
8月3日	大学	東海キャンパる 未来築く責任 若者に／文化情報学科 小川 実弓さん（3年生）	新聞（毎日）
8月6日	高等学校	名古屋地区高校水泳【背泳ぎ200メートル】1位 岩本 奈那美さん（3年生）【平泳ぎ200メートル】1位 大島 彩奈さん（2年生） 【バタフライ100メートル】1位 清水 結衣さん（3年生）【個人メドレー200メートル】1位 森内 瑠菜さん（3年生）【リレー400メートル】1位 高校水泳部 ほか	新聞（中日）
8月8日	大学	いわむら城址 薪能を解説／文化情報学科 飯塚 恵理人教授	新聞（中日）
8月10日	大学	オープンカレッジ SDGsによる共有価値創造の展開 ESG投資での積極的な支援を／現代マネジメント学科 水野 英雄准教授	新聞（中部経済）
8月14日	高等学校	県体操選手権少年Ⅱ部【女子個人】2位 鈴木 麻由さん（1年生）【跳馬】1位 丹羽 史子さん（1年生）【平均台】3位 鈴木 麻由さん、 山田 菜穂さん（1年生）【ゆか】1位 鈴木 麻由さん	新聞（中日）
8月14日	中学校	知多市民水泳【女子100メートル平泳ぎ】2位／江崎 優衣さん（2年生）	新聞（中日）
8月15日	中学・高校	校長Interview／早川 操校長	新聞（私教育）第67号
8月17日	中学校	幸田学童書道展【幸田文化協会賞】／川口 麗佳さん（2年生）	新聞（中日）西三河版
8月18～21日	高等学校	2018全国高校総体 競泳各種目／高校水泳部	新聞（中日）
8月19日	大学	来月開催「スペシャルオリンピックス・愛知」輝く舞台に／子ども発達学科 北村 菜摘さん（3年生）	新聞（中日）
8月20日	高等学校	中部電力名古屋市民スポーツ祭卓球【女子学校対抗】1位／高校卓球部	新聞（中日）
8月21日	高等学校	高校放送コンテスト 全国大会に出場／広瀬 聡美さん（3年生）	新聞（中日）知多版
8月22日	大学	オープンカレッジ 地方からのマーケティング(2) クラウドファンディングを活用する／現代マネジメント学科 角田 隆太郎教授	新聞（中部経済）
8月27日	高等学校	名古屋市高校卓球選手権 女子シングルス／2位 春日井 沙英さん（2年生） 3位 松浦 佳湖さん（2年生）	新聞（中日）
8月27日	高等学校	県秋季新人卓球 女子シングルス／A1位 沢田 茉由子さん（1年生） D1位 竹内 加穂子さん（1年生）	新聞（中日）
8月27日	高等学校	中部電力名古屋市民スポーツ祭ソフトボール高校女子／高校ソフトボール部（椙山 5-4 桜台、椙山 10-3 愛知淑徳、中川商 9-2 椙山）	新聞（中日）
9月2日	高等学校	読者が作った新聞わーくシート 災害情報外国人も見やすく／昌山 莉子さん（2年生）	新聞（中日）
9月3日	大学	名古屋市民スポーツ祭陸上【走り幅跳び】1位／管理栄養学科 鈴木 美帆さん（1年生）	新聞（中日）
9月11日	小学校	第72回全日本学生音楽コンクール名古屋大会予選通過【小学校の部】／上田 愛唯さん（5年生）	新聞（中日）
9月11日	高等学校	愛知ジュニアサマーテニストーナメントダブルス【女子18歳以下】1位・3位【女子16歳以下】1～3位／高校テニス部	新聞（中日）
9月11日	大学	テニス 東海大学対抗リーグ／大学硬式庭球部（椙山 5-0 愛知淑徳）	新聞（中日）
9月13日	大学	論点 18歳成人消費者教育が急務／現代マネジメント学科 東 珠実教授	新聞（読売）
9月15日	小・中学校	硬筆競書展 入賞者決まる【審査員特別賞】／清水 杏珠さん（中学2年生） 今木 琉衣さん（小学4年生）	新聞（毎日）
9月17日	中学校	県私学祭剣道【中学生女子】3位 椙山女学園A／中学剣道部	新聞（中日）県内版
9月18日	高等学校	県高校新人体育新体操名北予選 団体1位ほか／高校新体操部	新聞（中日）
9月19日	小学校	車造り環境配慮が大切 ゲームで児童学ぶ／村田 ももさん（5年生）	新聞（中日）
9月22日	大学	ピザで笑顔満開 椙山女学園大コラボ アオキーズが新商品／現代マネジメント学科 川口 加奈子さん（3年生）	新聞（中日）
9月25日	大学	オープンカレッジ 既存住宅の活性化が鍵 空き家増加の原因と対策／現代マネジメント学科 前川 俊一教授	新聞（中部経済新聞）
9月25日	高等学校	全日本高校女子サッカー選手権県予選／高校サッカー部（1回戦 椙山 7-0 春日井、2回戦 椙山 10-0 清林館）	新聞（中日）
9月29日	小・中学校	学生書玄競書入賞者決まる 第53回学生部書玄競書大会【1部】書玄会賞 芝波田 凜花さん（中学3年生）【2部】毎日新聞社賞 江口 鋒弥さん（小学4年生）	新聞（毎日）

※この一覧以外にも、授業、クラブ活動等での活躍がたくさん取り上げられています。

学園規程の変更

7月 JULY 通知分（全1件）

表　題	区分	説　明	制改廃日	施行日
椙山女学園大学附属幼稚園教諭（パートタイム）の任用、給料等に関する規程の一部を改正する規程	一部改正	預かり保育を担当するパート教諭の人材確保が困難であるため、早朝、夕方及び土曜日の時給額を1,500円とすることができるようにする。	H30.7.20	H30.8.1

10月 OCTOBER 通知分（全4件）

表　題	区分	説　明	制改廃日	施行日
椙山女学園大学学生相談室規程の一部を改正する規程	一部改正	学生相談室のカウンセリング業務を円滑に遂行するため、専任カウンセラーの職を改め、学生相談室のカウンセラーは全員無期転換が可能な非常勤カウンセラーとする。非常勤カウンセラーのうち1名を主任カウンセラーとし、学長の推薦により理事長が任命することとする。	H30.9.21	H31.4.1
高等学校等教育職員の時間外勤務手当及び休日勤務手当に関する規程	制定	高等学校、中学校、小学校及び幼稚園の教育職員との３６協定の締結に伴い、当該教育職員の時間外勤務手当及び休日勤務手当の支給に係る規程及び細則を整備する。	H30.9.21	H30.9.21
高等学校等教育職員の時間外勤務手当及び休日勤務手当に関する規程施行細則	制定	高等学校、中学校、小学校及び幼稚園の教育職員との３６協定の締結に伴い、当該教育職員の時間外勤務手当及び休日勤務手当の支給に係る規程及び細則を整備する。	H30.9.21	H30.9.21
椙山女学園大学学生相談室運営委員会規準の一部を改正する規準	一部改正	学生相談室規程の一部改正に伴い、委員から専任カウンセラーを削る。	H30.9.21	H31.4.1

理事会・評議員会の議題・報告事項（7月～9月）

7月 定例理事会（H30.7.20） JULY

議題

- 工事請負契約の締結に関する件
- 椙山女学園大学附属幼稚園教諭（パートタイム）の任用、給料等に関する規程の一部改正に関する件
- 高等学校等教育職員の時間外勤務手当及び休日勤務手当に関する規程に関する件
- 人事に関する件
- その他

報告事項

- 平成30年度学校法人椙山女学園同窓会奨励金の給付について
- 平成30年度私費外国人留学生の授業料減額について
- 椙山女学園大学アクションプラン2018について
- 平成30年度オープンキャンパス等来場者数(大・高)
- 寄付について
- 人事について
- その他

9月 定例理事会（H29.9.29） SEPTEMBER

議題

- 平成31年度予算編成方針及び事業予算に関する件
- 椙山女学園大学学生相談室規程等の一部改正に関する件
- 椙山女学園大学学生相談室非常勤カウンセラーの任用、給料等に関する規程の一部改正に関する件
- 高等学校等教育職員の時間外勤務手当及び休日勤務手当に関する規程等の一部改正に関する件
- 椙山女学園アルバイトの任用、給料等に関する規程の一部改正に関する件
- 助教の定数に関する件
- 幼稚園に係る預かり保育の利用料の改定及びILL（図書館間相互貸借）利用料金の制定に関する件
- 人事に関する件
- その他

報告事項

- 椙山女学園大学附属椙山こども園について
- 税務調査の結果について
- 名古屋市社会福祉施設指導監査の結果について
- 愛知県財政的援助団体等監査の結果について
- マレーシア科学大学との学生交換協定について
- リクルート進学ブランド力調査2018について
- 平成30年度オープンキャンパス及びオープンスクール等来場者数について
- 寄付について
- 人事について
- その他

人　事

平成30年10月1日までの人事案件

※原則、理事会審議事項のみ掲載

平成30年10月1日までに発令された人事（前号で掲載できなかった案件を含む。）

大学

採用（更新）

（看護）助手	吉田　誠史	H30.8.27～H31.3.31

退職

（人間）助教	高岡　しの	H30.8.31
（現マ）准教授	井畑　陽平	H30.9.30

保育園

契約（期間の定めのある雇用）（新規）

保育士	天川　真美	H30.9.1～H31.3.31

退職

保育士	阿知波 佳苗	H30.9.30

事務局

退職

人事課	酒井 雄一郎	H30.7.31
財務経理課	香川　直樹	H30.7.31

訃　報

中学校教諭	遠藤 さち子	H30.9.5

NEW FACE ニューフェイス

保育園保育士（期限付）天川 真美（アマカワ マミ）

9月から保育園で働かせていただきます天川真美と申します。元気いっぱいな子どもたちと一緒に遊び、一緒に学び、共に成長できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

入試日程一覧（小・中・高・大）

日程	曜日	学校	入試	対象
11/17	土	大学	併設校制推薦	全学科
11/17	土	大学	指定校制推薦	全学科
11/18	日	大学	同窓生特別推薦	人関・心理・文情・メ情・現マ
11/18	日	大学	公募制推薦(I期)	管理・教育・看護を除く全学科
11/18	日	大学	音楽実技特別推薦	教育（初中）
12/18	火	小学校	一般入試 適性試験	
12/18	火	小学校	一般入試 面接試験	本人・保護者(両親)
1/6	日	大学	公募制推薦(II期)	人関・心理・文情・メ情・現マ
1/27	日	中学校	入学試験	
1/30	水	高等学校	推薦入試	
2/3・4・5	日・月・火	大学	一般入試A 2教科型	看護を除く学科
2/3・4・5	日・月・火	大学	一般入試A プラスセンター型	全学科
2/7	木	高等学校	一般入試	
2/10	日	大学	大学院入試	全研究科
3/3	日	大学	一般入試B 教科型	全学科
3/5	火	大学	一般入試B 小論文型	表現

主な学園行事予定 11月～1月

日時	曜日	行事	主催・対象	日時	曜日	行事	主催・対象
11/3	土	大学振興会「社会見学」	大学	12/8	土	入試相談会、入試対策講座	大学
11/7~9	水~金	修学旅行(小6)	小学校	12/10~13	月~木	入試個別相談会	小学校
11/12~15	月~木	修学旅行(高2)	高等学校	12/14	金	クリスマス会	保育園
11/13~16	火~金	〃	高等学校	12/15	土	入学前教育スクーリング	大学
11/15~17	木~土	すぎのこアートギャラリー	幼稚園	12/20	木	終業式	幼稚園
11/17	土	入試体験	中学校	12/21	金	終業式	高・中・小
11/20	火	入園申請面接	保育園	1/7	月	始業式	高・中・幼
11/22	木	クラブ発表会	高等学校	1/7	月	初泳ぎ始業式	小学校
11/27~30	火~金	修学旅行(中3)	中学校	1/18	金	百人一首かるた大会	小学校
12/1	土	入試相談会	高等学校	1/19・20	土・日	大学入試センター試験	大学
12/1	土	第39回 椙山フォーラム	学園	1/22	火	3分間スピーチ	中学校
12/6	木	おもちつき	幼稚園				

編集後記

まずは、今夏における、西日本豪雨や台風21号、24号の相次ぐ上陸等によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまにお悔やみを申し上げます。また、被災された方々や関係者の方々に対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。2018年の夏は、記録的な高温となりました。名古屋では8月3日に観測史上初めて40度を超え40.3度の最高気温を記録しました。東京23区や100万人以上の大都市では初めてのことだそうです。岐阜県美濃市でも40.3度を観測しました。

さて、このような記録的な高温となった今年の夏から秋にかけてですが、学園の各学校においては、文化祭や運動会などの秋の行事が次々と行われています。燃え盛るような暑さの夏から園児、児童、生徒、学生等が一生懸命に準備してきたその成果を発表する場の到来です。今回の学園報はそのような各学校での実り多い各行事の様子をお知らせしています。

ご意見・ご質問などはこちらへお寄せください。 広報課（kouhou@sugiyama-u.ac.jp）